

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 034	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 養液栽培における培養液の炭酸ガス施用効果の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 県内の養液栽培に使用している地下水は重炭酸濃度が高く、pHが容易に低下しない水を使用している生産者が多くいます。肥料成分や硫酸などを用いて調整していますが、とくに2液混合では生育初期ではEC値が低いためpHが高い傾向があります。炭酸ガスを培養液中に施用するとpHが低下するが、源水のpHと炭酸ガスの施容量の関係や持続時間等不明な部分が多くあります。また炭酸ガスを培養液中に施用すると温室内の濃度も上がり温室内に炭酸ガスを施用したような効果があると言われてます。そこで、培養液に炭酸ガスを施用した時のpHの変化や温室内の炭酸ガス濃度の変化による植物への影響など検討をお願いします。 養液耕研究会会員：24名 イチゴの高設栽培：6戸（1ha）	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術所 <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名 農業技術センター	担当部所 経営情報研究部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	
対応の内容等 培養液への炭酸ガス施用について他研究機関で実施している研究の状況などを調査していくとともに、炭酸ガス施用効果の試験を実施しています。現地からのサンプリングなどのご協力をお願いいたします。 なお、培養液への炭酸ガス施用により温室内の炭酸ガス濃度がどれくらい高まるのかが明らかになれば、植物への影響は既存の研究成果から推測できるものと思われま。	
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
備考	